

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

[各1点×3]

今は昔、竹取の翁と<sup>①</sup>いふものありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきのみやつことなむいひける。

その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。<sup>②</sup>あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつくしうて<sup>③</sup>あたり。

〔竹取物語〕より

(1) 線①「いふ」を現代かなづかいに直して書きなさい。

(2) 線②「あやしがりて」の現代語訳として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 不思議に思つて
- イ おもしろいと思つて
- ウ 不愉快に思つて
- エ 見苦しく思つて

(3) 線③「あたり」の主語として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 竹取の翁
- イ さぬきのみやつこ
- ウ もと光る竹
- エ 三寸ばかりなる人

2 次のそれぞれの文の線部の漢字は読み方をひらがなで、カタカナは漢字で書いて答えなさい。

[各1点×7]

(1) 名残<sup>〓</sup>おしい別れ。

(2) 桜の風情<sup>〓</sup>を楽しむ。

(3) 華やかな式典<sup>〓</sup>。

(4) 怠惰<sup>〓</sup>を厳しく戒める。

(5) 理想のキョウウチ<sup>〓</sup>に入る。

(6) セマイ庭<sup>〓</sup>に花を植える。

(7) 虫を<sup>〓</sup>とることに興じる。